

巻 頭 言



つ 井 さ ち こ
筒 井 裕 子

人間看護学部 学部長

平成15年4月に人間看護学部が発足しました。滋賀県は、健康・福祉分野の教育・研究をさらに充実するひとつとして、医療・看護領域の4年制看護学部を滋賀県立大学に開設しました。

本学部は、医療の進歩に伴う知識を修得するとともに、人間を深く理解し、個々人にあった看護技術で援助できる学生を育成することを期待されています。また、滋賀県の看護の質をさらに高めるための拠点としての役割も期待されています。

看護学は人間を対象として、どのような健康状態にある人にも、その人らしく生活できることを支える学問であり、実践の科学でもあります。つまり、看護学は個々の人間の根底にある生き方や自己概念を重視し、意欲を引き出し、ニーズに対する援助を実践することです。

看護学が発展するための研究は、人間の感性や行動を観察し分析することから始まっています。したがって、看護研究は、必ずしも数字で表し量的に理論化する研究ばかりではなく、洞察性の高い質的な研究も重要視しなければなりません。

本学術雑誌の創刊に際しては、学術雑誌検討委員会での議論と学部構成員からのアンケート等に基づき、学部全体の意見を集約し、このようなジャーナルの形をとるに至りました。そこで、内容も学術論文から学部内の活動などの情報を提供できるものになっております。

今後、学部で開催するセミナーや特別講義の内容なども掲載し、本誌の充実に努め、開かれた学部を目指します。本誌はじめ本学部の発展にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

